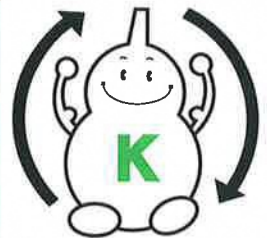


ごみジャーナル

No.43

発行／ごみ問題を考える草津市民会議

編集／広報委員会



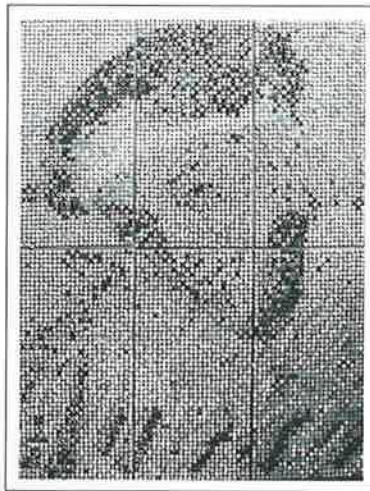
クルリーナちゃん
(ごみ問題のキャラクター)

第21回

リサイクルフェア草津2017 盛大に開催!



湖南農業高校による
野菜販売



ペットボトルキャップアート展示
(光泉中学校制作)



「掘り出し物はあるかな？」
リサイクルマーケット



草津市のごみの量が
一目でわかる特大展示



「おもちゃの取り換えっこ」
かえっこバザール

「よさこい元氣舞隊」の
演技で幕開け



たくさんのご来場
ありがとうございました



ペットボトルも水鉄砲に変身、
リサイクル体験コーナー



完売続出！おいしい模擬店



リサイクルフェア草津2017

会場スナップ

平成29年9月10日(日)
草津市役所にて

ごみ問題を考える 草津市民会議顕彰



長年の河川愛護活動ありがとうございます

今年のリサイクルフェアでは、地域の美化推進活動に尽力し、その功績が顕著である高岡寛さんを顕彰させて頂きました。

高岡さんはNPO法人琵琶湖ネット草津の会長等を務められ、約15年にわたって草津川流域の年2回の清掃活動や刈り草の堆肥化実験など、住民と行政の協働による新たな河川環境づくりのコーディネーターとなって活動されています。

今後も高岡さんのますますのご活躍をお祈りしています。

段ボールコンポストコーナー

段ボールコンポストの堆肥を使って栽培したナス、サツマイモ、キュウリ、里芋のプランターが展示され、大きなキュウリに足を止めて眺める人が見受けられました。

午後12時からイオングループが社会貢献として展開する「イオン チアーズクラブ」を対象に、段ボールコンポストの講座が行なわれました。小学校低学年の子どもも大勢いました

が、台所の生ごみを利用して家庭で堆肥ができて、安全な無農薬野菜がプランターで栽培できて、草津市のごみの減量に貢献できることに、熱心に聞いていました。



段ボールコンポストに子どもたちも興味津々

リサイクル体験コーナー

正面玄関と南玄関の中間あたりで繰り広げられた数々の体験コーナーにやってきた子どもたちは、新聞紙、桜の木、空き缶、牛乳パック、ペットボトルなどを使って、エコバッグやアクセサリーなどの素敵な生まれ変わりに目を輝かせていました。また、大人の方は、これまで継続的にブース出展をされているコーナーの人たちと

の弾む会話。リサイクルというテーマのもとに多くの人たちが集い、とても賑やかなコーナーでした。



さまざまな素材が生まれ変わりました

多くの団体と、光泉中学・高等学校ボランティア同好会、イオン チアーズクラブの皆さんのご協力のもと、イベントが開催されました。お礼申し上げます。

一回コラム

食べ物を大事にした昔の言葉 - あなたは読めますか -

続 飯

1 ぞくはん 2 つづきめし 3 そっくい

(ヒント) 昔は、おひつに残ったメシ粒を捨てずに、一粒ずつ集めたものを、へらで練って糊にして、仏具の補修等に使用した。
(正解は4ページ)

今年も
開催

我が家で自慢の エコレシピ 大募集

美味しくて、ごみの減量にも
つながるレシピを募集します！

応募期間 平成29年9月10日(日)～11月30日(木) 消印有効

応募資格 市内在住・在勤・在学の方。ただし、1人1作品と
します。

**レシピの
審査基準**

- ①調理の際の工夫により生ごみが出ない、または発生が抑えられている。
- ②電気・ガス・水道をうまく活用し、無駄に使用していない。
- ③地産地消を意識し、地元食材が活用されている。
- ④減塩などの体に優しいレシピである。
- ⑤子どもから大人までが楽しめる味や見た目である。

最優秀レシピには
5000円分の商品券と
エコグッズを
プレゼント！

皆様のご応募
お待ちしております。

お問合せ

応募方法等、詳しくは事務局 草津市役所ごみ減量推進課
(電話 077-561-2346) まで



さんまる いちまる プラス

3010運動+の取り組み



3010運動とは、宴会開始後30分と終了前10分は自席で食事を楽しむ運動で、本来食べられるのに廃棄されているもの、いわゆる「食品ロス」の削減を推進する取り組みとして、全国に広がりを見せています。

草津市は、食べられる食品の廃棄対策と健康づくりにつながる『3010運動+』を展開しており、ごみ問題を考える草津市民会議では、市民の皆様に向けてイベント等でこの運動を啓発しています！

〈3010運動+の取組内容【親睦会等で取り組みましょう】〉

- 幹事は、参加者が食べ残しをしないよう準備する。
 - 幹事は、参加者に対して3010運動の呼びかけを行い、参加者はこれを実践する。
 - ・開催案内や当日の挨拶等で、以下のような呼びかけを行う。
- (開始時) 「これより30分間は席で料理をお召し上がりください」
(終了10分前) 「間もなくお開きとしますが、料理が残っている方は席にお戻りいただき、料理を残さずお楽しみください」

ー健康づくりの視点からー

- 開始30分は、自席で食事を楽しみ、空腹状態での多量飲酒を避けましょう。
- 野菜から食べ、1口20～30回を目安によく噛んで食べましょう。



【先人たちの知恵】～今では知る人もわずかになった「箱膳」の話～

江戸末期～昭和初期位まで、一般の家庭では家族一人ひとりに、箱膳という食事の道具が与えられており、右図のように、食事の時はお膳として使用しました。

当時の夕食の一例は、ご飯・一汁・一菜・こうこう(漬物)・白湯でした。

食べ終わると、器に白湯を入れて、一切れ残しておいたこうこうで綺麗にすすいでから、こうこうを食べて湯を飲み、全部終われば布巾を掛けて蓋をして戸棚にかたづけます。

大家族だと食器を洗う時間の簡素化にもなりました。残飯なんか全く出ない質素な食生活でした。

もったいないと云う気持ちを皆が持ち、宴会やパーティー、結婚式等で必要以上の物を注文しなければ、食品ロスは出ないでしょう。



見て・聞いて・体験バスツアー

開催日：8月24日 参加者：33名
 行先：あいとうエコプラザ菜の花館
 株式会社コクヨ工業滋賀



午前中は東近江市の「あいとうエコプラザ菜の花館」を訪問しました。地域から集められた廃食油から「自然にやさしいせっけん」や「軽油代替燃料」などを作って地球環境に貢献されています。子どもたちは、使用済のてんぷら油でキャンドル作りを体験しました。たこ紐を使った芯づくりで苦心しましたが、うまく形に収まり満足のいく出来上がりとなり、楽しい体験ができました。



午後には愛荘町にある(株)コクヨ工業滋賀を訪ねました。昭和63年の設立以来、今や国内最大級のノート工場で、日頃なじみのある「ノート・CAMPUS」を製造されています。工場では原紙から印刷・製本・完成まですごいスピードで出来る上がる状況に参加者は大きく驚いていました。

モノづくりには常に環境保全が考えられ、不要になった資源も無駄なく使用されています。

びわ湖・淀川水系のヨシを利用したオリジナルブランド「REEDEN(リイデン)」の開発・製造販売もされ、ボランティア活動を通じて地元貢献・環境貢献といった地域との関わりを大切にされています。

一日を通じて、見て、聞いて、楽しいバスツアーとなりました。



事務局

ごみジャーナル第43号についてのご意見、ご感想をお気軽に左記までお寄せください。
 〒525-8588
 草津市草津三丁目13-30
 草津市役所ごみ減量推進課内
 「ごみ問題を考える草津市民会議」
 広報委員会
 TEL(077)561-2346
 FAX(077)561-2479
 E-Mail: genryo@city.kusatsu.lg.jp

【広報委員】

- ・松村 幸子・深尾 順一・山本 正行
- ・川瀬 善行・今井 修・谷 国男
- ・太田 信一・油布 輝義・山口 尚孝

編集後記

食品ロスは、国民一人当たりで換算すると、お茶碗約一杯分の食べ物「が毎日捨てられていること」になります。「もったいない」と思いませんか？草津市が推進している、健康づくりと食べられる食品の廃棄対策の取り組みの一つである「宴会開始30分と終了前10分は自席で食事を楽しむ3010運動」を、幹事の呼びかけと、参加者が実践するなど、「食品ロス」に対する問題意識を皆が持ち、ごみ減量に繋がっていくことが求められています。

ごみ収集日の確認や、ごみの出し方を検索できるごみ分別辞典機能など、生活の中で出てくるごみに関する問題を解決するためのスマートフォン用無料アプリです。

機能

- 収集地区別のごみカレンダーや、ごみ収集日を簡単表示
- アラート機能でごみを出す日をお知らせ
- 品目ごとに出し方を簡単に検索
- 近所のごみ袋等取扱店などを地図で表示
- ごみに関する問い合わせ先を素早く検索
- ごみ問題を考える草津市民会議とごみ減量推進課のイベント情報やお知らせなどを配信
- よくある質問を掲載



ここからダウンロードできます



アイコン



iphone用



Android用

一口コラムの答え……3.そっくり